

天草本【伊曾保物語】

(天草コレジヨ館蔵)

※ 天草本と呼ばれる【平家物語】・【伊曾保物語】など47種(うち12種現存)は、1591年~1597年頃、日本最初の活版印刷本として天草のコレジヨ(大神学校)において、ゲーテンベルク印刷機によって印刷された。

原本は、現在イギリスのブリティッシュミュージアム(大英博物館)別館のライブラリーに所蔵されている。

ポルトガル式ローマ字で印刷されている。



(翻字)

イソップが生涯の物語略

これをマシモ・プラヌーデ
と言う人 グレゴのことはよりラチンに翻
訳せられしものなり

エウローバのうちヒリジャと言う国のトロ
ヤという城裡の近辺にアモニヤという郷が
おじゃる。その郷に名をばイソポという
て、異形不思議な人体がおじゃったが、その時代
エウローバの天下にこの人に勝って醜い者
もおりなかつたと聞こえた。まず頭は尖
り、眼はつぼう、しかも出て瞳の先は
平らかに、両の頬は垂れ、首は歪み、丈
は低う、横ばりに、背は屈み、腹は腫れ、
垂れ出て、ことはは吃りでおじゃった。これらの
姿をもって醜いこと天下無双であった如
く、知恵の長けた者もこの人に並ぶこ
とはおりなかつた。

ある時主人イソホが上を思わるるよう
は、「公界の捌き、或いは内緒の取扱いな
どは いかにも似合うまじいと見ゆれば せめて農人
の 所作をなりとも宛わず」と思い定め

(翻字)

イソポの ファブラス(物語) ラテンを和して 日本の 口となすものなり

(図)

イエスのコンパニア(耶蘇会)の
コレジオ天草においてスペリオスの御免
許としてこれを版に刻むものなり。
ご出生より(キリスト生誕)1593年

※翻字は京都大学文学部編【伊曾保物語】を引用



DOCVIVNO FITOYE TAIKIK
TE XOSV.

Sýre fitoua mimonaqi tauamútegotónitua rú-
miuo catamúqe, xinjítuo qeódeuoba qiquni ta-
cut suruni yorte, mimigicaqi cotouo atçume, cono
monogataríuo fanni qizamúoto, taroyeba jumo-
cuuo aifuruni, cotonasazu; sonoyuyeta vyeqiniua
yeqinaqi yedafa vouoxito iyedomo, sono nacani
yoqi ni aru vomotte yedafauo muyóto vomouanu-
ga gotoqu nari. Carugayuyeni Súperiores no vóxe
vomotte cono monogataríuo Latinyori Nipponno
cotobani yauarague, iroirono xenzacuno nochí,
fanni firacaturu nari. Core macotoni Nipponno
cotoba qe cono tameni tayorito naru nominasazu,
yoqi michiuo fitoni voxíye cataru tayorito no
rubeqi mono nari.

(翻字)

読誦の人へ対し
て書す。

惣じて人は実もなき戯れごとには
耳を傾け、真実の教化を聞くに
退屈するによって、耳近きことを集め、この
物語を板に刻むこと、たとえば樹
木を愛するに異ならず、その故は樹には
益なき枝葉多しといえども、その中に
よき実あるを以って枝葉を無用と思わぬ
が如くなり。故にスペリヨレスの仰せ
をもって、この物語をラテンより日本の
ことばに和らげ、色々の穿鑿の後、
板に開かるるなり。これを真に日本の
ことば稽古のために頼りとなるのみならず
よき道を人に教え語る頼りともな
るべきものなり。

※翻字は京都大学文学部編【伊曾保物語】を引用

Inuga nicuuo fucunda coro.
いぬがにくを ふくんだこと

Aru inu xiximurauo fucunde cauauo vataruni, so.
あるいぬ ししむらをかをふくんでかわをわたるにそ

no cauano mannacade fucunda xiximurano cague-
のかわの まなかでふくんだししむらのかけ

ga mizzuno soconi vtçurtauo mireba, vonorega fu
がみずのそこにうつたをみれば、おのれがふ

cunda yorimo, ychibai vôqinareba, caguetoua xi-
くんだよりも いちばいおおきなれば かげとはし

raide, fucundauo futete mizzuno socoye caxirauo ire
らいでふくんだをふててみずのそこえかしらを入れ

te mireba, fontaiga naini yotte, funauachi qiyevxe-
てみればほんたいがないによって すなわちきえうせ

te dochiuomo torifazzuite xittçuiuo xita.
てどちらをもとりはずいてしっついをした。

犬が肉をふくんだこと

ある犬ししむらをかをふくんで川を渡るに そ
の川のまん中でふくんだししむらのかけ
が水の底に写ったを見れば おのれがふ
くんだよりも一倍大きければ 影とはし
らいでふくんだをふてて 水の底へ頭を入れ
てみれば本体がないによって即ち消え失せ
てどちらをもとりはずいてしっついをした。 (天草読本より)